

第2回日本モンゴル映画祭を開催しました

株式会社東京企画(代表取締役:國峰有希)は、2026年3月14日から27日まで新宿K's cinemaにて開催された「第2回日本モンゴル映画祭」を共催しました。

第2回

Япон Монгол кино наадам

日本モンゴル映画祭

五感で楽しむモンゴル旅

モンゴル国大使館にて初開催。映画祭の熱気が響く、一夜限りのレセプション。

2026年3月13日18時30分より、駐日モンゴル大使館にてレセプションパーティーを開催。日本・モンゴル双方から映画祭関係者、映画関係者、及び、映画祭を楽しみにされているお客様が約70名ほど参加されました。馬頭琴(モリンホール)奏者のウルゲン氏もゲストでお呼びし、演奏していただきました。会場内にはお食事と、協賛企業による日本酒・焼酎・ワインそしてお蕎麦も振る舞われ、常に和やかで、それぞれ交流を深めました。







駐日モンゴル国特命全権大使、文化芸術長官の挨拶により、第3回の開催も決定！

バンズラグチン・バヤルサイハン駐日モンゴル国特命全権大使は「日本とモンゴルの共同制作は1980年代に始まり、今でも映画は文化交流の1つとして大事にしている」とご挨拶。バトホヤグ・ゴトヴスレンモンゴル文化芸術長官も同様に挨拶され、第3回の応援はもちろん、モンゴルで開催する日本の映画祭も応援することをその場で公言されました。

また、モンゴルから来日された3名のゲスト・監督、プロデューサーからのスピーチも。

モンゴルの実力派監督の1人であるビャンバ・サヒヤ監督(Byambaa Sakhy)、ビャンバ監督の妻であり、30年以上のキャリアを持つアリウナー・ツェレンピルプロデューサー(Ariunaa Tserenpil)、20年以上のキャリアを持ち世界中から注目を集めているノムーンズル・トゥルムンフプロデューサー/脚本家(Nomuunzul Turmunkh)からは、映画祭の実行委員会への感謝と共に、それぞれの映画に対する想いを伝えられました。





海外映画祭での受賞作品と共に、トークセッションや舞台挨拶

新宿K's cinemaでは3月14日から16日にかけてビャンバ監督、アリウナープロデューサー、そしてノムーンズルプロデューサーらが手がけられた映画上映の後、舞台挨拶を実施。20日と23日にはアムラ・バルジンヤム監督も来日され、同様に舞台挨拶が行われました。

舞台挨拶・対象作品

ビャンバ・サヒヤ監督 (BYAMBAA SAKHY)

『リモート・コントロール』

『Bedridden ～寝たきりを選んだ男』

アリウナー・ツェレンピルプロデューサー (Ariunaa Tserenpil)

『狼は夜やってくる』

『リモート・コントロール』

『Bedridden ～寝たきりを選んだ男』

ノムーンズル・トゥルムンフプロデューサー (Nomuunzul Turmunkh)

『サイレント・シティ・ドライバー』

アマラ・バルジンヤム監督 (Amra Baljinnyam)

『MONGOL』

舞台挨拶は、本映画祭のプログラム・ディレクターである大西夏奈子氏による質問と、会場からの質疑応答により、さらに映画についての思考が深まることとなりました。

いずれもモンゴルの現代が抱える社会課題や、監督自身の過去の経験や、フランスの作家や日本の黒澤明監督など、影響を受けた著名人や作品を経て独自に描かれた世界観が印象的でした。

質問の内容(一部)と舞台挨拶の様子(写真)

『リモート・コントロール』(ビャンバ監督・アリウナープロデューサー)

釜山国際映画祭ニュー・カレンツ賞、ロッテルダム国際映画祭プリンスクラウス賞受賞作品

—この映画を通して伝えたいメッセージは何か？

—俳優ではない主人公を起用しているが、それはなぜか？





『Bedridden ～寝たきりを選んだ男』(ビャンバ監督・アリウナープロデューサー)
—なぜ映画をモノクロにしたのか？
—私生活でもパートナーとして組まれている監督とプロデューサーがおしどり夫婦として大事にしていることは？





『狼は夜やってくる』(アリウナープロデューサー)
シルクロード国際映画祭ベストドキュメンタリー賞受賞作品
—本作はハイブリッドドキュメンタリーであるが、そもそもハイブリッドドキュメンタリーとは何か？
—主人公はどのように起用したのか？





『サイレント・シティ・ドライバー』(ノムーンズルプロデューサー)

大阪アジア映画祭最優秀俳優賞受賞作品

—映画を通して伝えたかったテーマは何か？

—テーマソングが頭から離れないほど印象的だが、モンゴル映画になぜフランスの曲を起用したのか？

—現在のモンゴル映画の状況をどのようにみているか？





『MONGOL』アムラ監督

—史実を元に作られた映画とあるが、どの部分が実際にあった映画なのか？

—馬に乗るシーンは大変だったか？

—主人公として、モンゴル人の英雄の名前に「モンゴル」とつけたのはなぜか？

—この映画を通してどんなことが伝えられたのか？





新宿K's cinemaに続き、横浜、阿佐ヶ谷でも開催し、好評をいただきました

2026年3月28日(土)～4月3日(金)横浜シネマリン

2026年4月17日(金)～5月7日(木)Morc阿佐ヶ谷

日本モンゴル映画祭概要

主催：日本モンゴル映画祭実行委員会／株式会社マグネタイズ／株式会社NOMADZ

共催：株式会社東京企画／株式会社リブ

助成:アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】

協賛:株式会社グランマーブル／名代富士そば／有限会社酒屋の宇山／株式会社いまでや

協力:大阪アジア映画祭／合同会社K-zone／新宿モンゴル料理モリンホール屋

後援:駐日モンゴル国大使館

公式HP:<https://mongolianfilmfest.com/>

公式X:<https://x.com/mongolfilmfest>

公式Facebook:<https://www.facebook.com/profile.php?id=61568106526404>

公式Instagram:<https://www.instagram.com/mongolfilmfest>